

-----4月28日-----

※ 今週のアウトルック (4/28~5/2)

先週は、材料不足から様子見感が強く、膠着状態が続いたあとは週末にかけて若干円高が進みまいした。

今週は週末に米国雇用統計の発表を控えていることから、前半は小動きから結果予想を前提とした動き。後半はADP雇用統計などの結果に即した動きとなることも予想されそうです。

先週ドル円は、前半は動きづらい展開となり、後半は若干の円高となりました。

今週は、全般的には米国雇用統計の結果を予想した動きとなりそうですが、しばらくの間狭いレンジでの動きが続き、テクニカル的には一方向へ動き出すエネルギーが蓄積されているため、雇用統計発表後、大きく円安へ動く可能性も、考慮しておいたほうが良いかもしれません。

ドル円の予想レンジは101.5円から104円です。

ユーロは先週、小動きな状態に終始しましたが、

テクニカル的には、ユーロ高方向へもう一段進む準備を整えつつあるようにも解釈できるように思います。

今週は、ウクライナ情勢などに変化がなく、米国雇用統計が良好なものであった場合には、もう一段のユーロ高も考えられるように思います。

ユーロ円の予想レンジは141円から144円です。

ポンド円は、米国雇用統計が良好で、リスクオンムードが確立した場合には、173円超えの可能性もあるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは170円から175円です。

今週は米国雇用統計の発表に、大きく影響されそうですが、リスクオンムードが確立した場合には、もう一段円安が進む可能性が高そうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。